

科目ナンバー	EDU-2-032-j			科目名	初等家庭科教育法		
教員名	後藤 さゆり			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	学習指導要領に示された小学校家庭科の目標、育成を目指す資質能力、学習内容を踏まえ、授業設計を行う方法を理解します。そのうえで、具体的な授業を想定して学習指導案を作成し、模擬授業を行います。模擬授業の振り返りを行い、修正した学習指導案を作成します。						
到達目標	1)小学校学習指導要領「家庭」の目標及び全体構造、内容を理解している。2)学習内容の指導上の留意点、情報機器及び教材の活用を理解し、教材研究を行うことができる。3)学習評価の考え方、授業設計の方法を踏まえ、学習指導案を作成することができる。4)模擬授業を行い、その振り返りを通して、授業改善をすることができる。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	到達目標を達成するためにグループでディスカッションを行いながら、知識・技能を身につけます。後半では、自ら作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実施し、その振り返りを通して授業計画力を養うとともに、授業を改善する視点を身につけます。 本授業では課題として、グループディスカッションおよび模擬授業の実施と振り返り、学習指導案の提出を求めます。各課題に対し、適宜総評を伝えます。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	小学校教諭1種免許状取得希望者の必修授業です。						
アセスメントポリシー及び評価方法	授業でのワーク(話し合いへの参加の態度等を含む)20%、模擬授業20%、小レポート20%、最終レポート40% 授業でのワークでは、コミュニケーション力としてグループへの貢献度及び主体性、模擬授業では実践的スキル及び主体性、小レポート及び最終レポートでは、識見として課題理解度を総合的に評価します。						
教材	『小学校学習指導要領解説 家庭編』、小学校家庭科教科書(大学から貸与)を毎回持参して下さい。その他の資料は、授業で随時配布します。						
参考図書	後藤さゆり共著『家庭科教育(新・教職課程シリーズ 教科教育編)』平成27年 一藝社後藤さゆり共著『道徳教育論(教職シリーズ4)』平成23年 培風館後藤さゆり共訳『現代家庭科教育法』大修館						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス・小学校学習指導要領「家庭」の目標と学習内容・家庭科の全体構造						
授業外学修内容	「小学校学習指導要領(家庭)」を確認しておくこと。					時間数	2
2週目							
授業学修内容	小学校家庭科の学習内容と全体構造						
授業外学修内容	「小学校学習指導要領(家庭)」を確認しておくこと。家庭科の資料にあたり、よい授業の特徴について自分の意見をまとめ、次回持参すること。					時間数	2
3週目							
授業学修内容	指導計画作成と内容の取扱いの配慮事項						
授業外学修内容	「小学校学習指導要領(家庭)」の指導計画作成と内容の取扱いの配慮事項について確認しておくこと。					時間数	2
4週目							
授業学修内容	実習・体験的学習の指導と留意点						
授業外学修内容	実習型授業、体験的学習の要点について小レポートを提出すること。					時間数	2
5週目							
授業学修内容	育成する資質・能力と学習評価						

授業外学修内容	国立教育政策研究所「評価規準の作成,評価方法の工夫改善のための参考資料(小学校)」の8章家庭を熟読しておくこと。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	情報機器および教材の活用と授業方法		
授業外学修内容	電子教科書にある動画や資料、その他公開されている教材を用いて授業する要点についてまとめておくこと。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	社会の変化への対応と「生活の営みに係る見方・考え方」		
授業外学修内容	現代社会で直面している児童の生活課題について、文献にあたっておくこと。さらに、児童の生活課題について、児童観・題材観に活用できるようにまとめておくこと。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	学習指導案の構成と作成の要点		
授業外学修内容	学習指導案の構成について理解を深めておくこと。	時間数	3
9週目			
授業学修内容	学習指導要領の内容A家族・家庭生活の教材研究と授業計画(グループディスカッション)		
授業外学修内容	領域Aの本時の展開の課題(目的・評価の観点・教授法の工夫)についてまとめて提出すること。また、その課題を解決するために文献にあたること。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	学習指導要領の内容B 衣食住の生活の教材研究と授業計画(グループディスカッション)		
授業外学修内容	領域Bの本時の展開の課題(目的・評価の観点・教授法の工夫)についてまとめて提出すること。また、その課題を解決するために文献にあたること。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	学習指導要領の内容C 消費生活・環境の教材研究と授業計画(グループディスカッション)		
授業外学修内容	領域Cの本時の展開の課題(目的・評価の観点・教授法の工夫)についてまとめて提出すること。また、その課題を解決するために文献にあたること。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	学習指導要領の内容A家族・家庭生活の模擬授業と振り返り		
授業外学修内容	模擬授業の振り返りを踏まえ、作成した細案の指導計画の評価規準を完成させておくこと。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	学習指導要領の内容B 衣食住の生活の模擬授業と振り返り		
授業外学修内容	模擬授業の振り返りを踏まえ、本時の目標と評価の観点の関係を確認し、修正しておくこと。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	学習指導要領の内容C 消費生活・環境の模擬授業と振り返り		
授業外学修内容	模擬授業の振り返りを踏まえ、板書計画を修正しておくこと。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	思考力・判断力・表現力等の育成と授業改善		
授業外学修内容	育成する資質・能力の観点から、授業の教材プリントを修正しておくこと。修正版(第2次)指導案を提出すること。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		31	
その他に必要な自習時間		59	

Number	EDU-2-032-j	Subject	Methodologies for teaching Primary School		
Name	後藤 さゆり(Goto Sayuri)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Based on the contents from home economics addressed in "Outline of Primary School Home Eco					

Course outline	O nomics", we aim to verify teaching materials and instruction methods and to consider educational methodologies for cultivating the ability to create one's lifestyle. To do so, what is important for home economics is not only the perspective of teaching in the course fundamental and basic knowledge and techniques for living everyday. It is also important to research instruction methods and teaching materials from a cross-curriculum and hidden curriculum perspectives. In addition, as that base, it is also necessary to consider from an educational viewpoint, such as investigating so that the children can deepen their own understanding and considering the meaning of learning through experience.?
-------------------	---